

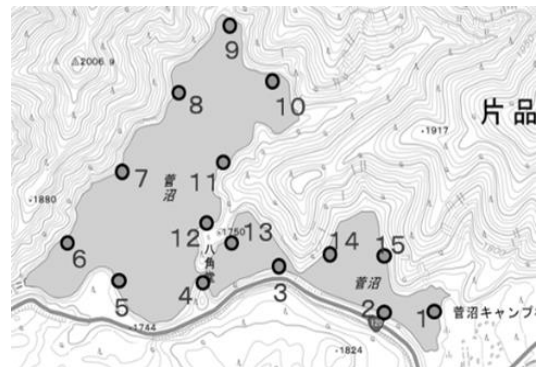
# 菅沼に生息するウチダザリガニ調査 ～菅沼に生息するウチダザリガニの現状～

群馬県立尾瀬高等学校 理科部

キーワード：ウチダザリガニ、菅沼、生態系、CPUE

【はじめに】ウチダザリガニは北米原産の大型の湖底底生生物で、日本の生態系を攪乱する事が予想され、環境省に特定外来生物に指定された生物である。地域関係者よりウチダザリガニが片品村にある菅沼に生息しているという情報を得た。これまで菅沼に生息するウチダザリガニの詳しい調査はされておらず、現状について全く分かっていない為、明らかにしたいと思い調査を行った。

【方法】調査日は2019年10月22日である。ウチダザリガニが菅沼のどこに分布しているのか調査するため、湖岸を等間隔で15地点に区切り、ボートで調査地点まで移動し、トラップ（かに籠）を設置した（右図）。餌にはニシンとサンマの切り身を使用し翌日にトラップを回収。雌雄の判別、抱卵の有無、欠損、再生脚、体重、額角から尾端の長さをそれぞれ記録用紙に記入した。



国土地理院発行 1:25000 地形図「丸沼」より

【結果】全部で187匹のウチダザリガニを捕獲した。文献を参考にCPUE（捕獲努力量あたりの捕獲数）を算出し、右表のとおりまとめた。捕獲個体の最大体長は133mmで最小値は70.6mmである。目視による調査では30mm程度の個体も確認されており、70mm以下の個体も生息している事が分かった。捕獲個体の平均体重は33g、平均全長は96.2mmである。地点ごとで捕獲数にばらつきが出たが、ほぼ全ての地点で捕獲できた。捕獲個体は雄の割合が高く、欠損個体の割合は全体の17%で、雄と雌で有意な差は見られなかった。また、捕獲数に関係なく欠損個体は確認された。

場所	水域名	初見または導入した年	CPUE(尾/ワナ晩数)	地点No.	捕獲個体数
群馬県	菅沼	不明	12.5	1	1
北海道	洞爺湖	2005	0.4	2	20
北海道	阿寒湖	1970年代初	14.9	3	14
北海道	摩周湖	1930	4.5	4	63
北海道	おけと湖	1996	14.6	5	1
福島県	秋元湖	不明	4.5	6	13
※他地点は千葉県生物多様性センター研究報告より					
				7	3
				8	30
				9	5
				10	1
				11	0
				12	8
				13	24
				14	4
				15	0

【考察】捕獲数の結果から菅沼全域に分布していると考えられる。抱卵個体と幼体が確認された事から、ウチダザリガニが菅沼で繁殖している事が考えられる。またCPUEの値から、繁殖状況は北海道の阿寒湖やおけと湖と同程度であると示唆される。

【おわりに】今後、菅沼のウチダザリガニは生態系を攪乱しているのか、もしくはすでに菅沼の生態系の一部として取り込まれているのかを明らかにしたい。